

「槍と水差し」

2026.4.23

聖書に学ぶ 39

I サムエル記 26:1~25

一度悔い改め、反省したはずのサウル王は、なぜ同じ事を繰り返すのでしょうか。

どうしてもやり遂げたいという人の思いは、そう簡単には変えられないようです。

このサウル王に対して、ダビデの選択は逃げることで、夜襲をかけて戦うことなく、サウル王にもう一度向き合い、話をする機会を持つことでした。ダビデは主を恐れ、信頼して大胆に行動を起こして行きます。

今日の学びの要点

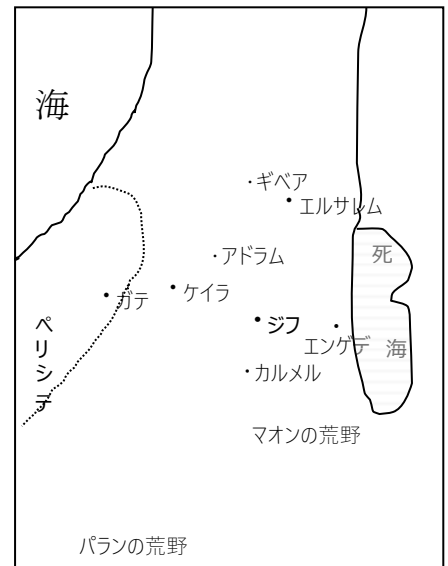
神様は私たちを試される方です。性懲りもなく、サウル王がダビデに迫って来るとき、ダビデはサウルを殺すことではなく、主を前に置いて、悪に対して善で報いました。私たちは、いつも主の喜ばれる方を選ぶ者になっているのでしょうか。

I、ダビデの居場所が分かったとき

- 1、サウル王はまた三千人の精鋭を連れてダビデを探しに来ました。先回の事をどう思って、出てきたのでしょうか。

(Iサムエル記 26:2)

- 2、もしダビデより先に、サウルがダビデを見つけたら、サウルはどうしたでしょうか。



II、寝ているサウルに近づくダビデ

アビシャイはダビデの妹ゼルヤの子
ダビデの三勇士の一人

- 1、ダビデはサウルの陣営に近づき、サウルが寝る場所を確認しました。

(Iサムエル記 26:5)

①ダビデは夜、アビシャイと二人だけで、サウルが寝る場所に近づきましたが、サウルを守るはずの者たちは、どうしていましたか。(Iサムエル記 26:7)

②サウルを殺そうというアビシャイに、ダビデは何と言いましたか。

(Iサムエル記 26:9~10)

2、ダビデはこの時、何を持って立ち去りましたか。

またなぜ、誰にも気付かれなくて、その様な事ができたのでしょうか。

(Iサムエル記 26:12)

Ⅲ、サウルに呼ばわるダビデ

アブネルはサウルの従兄弟

1、ダビデはアブネルに、サウルの枕もとの槍と水差しが自分の手にある事を大声で語りました。どうしてアブネルに声をかけたのでしょうか。

(Iサムエル記 25: 15~16)

2、Iサムエル記 26:19 で、サウル王がダビデを執拗に追ってくる理由を聞いています。

①ダビデ自身は、誰によって動いているのでしょうか。(Iサムエル記 26: 25)

・ダビデはアビシャイの言葉で動いていない。(Iサムエル記 26: 24)

②サウル王は誰によって行動をおこしているのでしょうか。(Iサムエル記 26:1~2)

3、Iサムエル記 26:23 で、ダビデがサウルに手をかけなかった理由は何だと言っていますか。

